



▲加西市運動ポイント事業で表彰された（左から）高見勉さん（3位）、上坂裕美さん（1位）、山岡いつみさん（2位）

ボールを使った運動で親子が汗流す

6月13日、健康福祉会館で社会人女子バスケットボールチーム「アストライア」による「親子ボールあそび教室」を開催しました。市内在住の年中児から小学2年生までの親子が参加し、選手との遊びを交えた運動やシュート体験に、参加者は夢中で取り組みました。「親子で良い汗をかけました」との声があり、親子の絆を深める一日となりました。



▲地域の部会員に教わりながらカレーピラフを調理する児童たち

7月は「社会を明るくする運動」強調月間

7月に「社会を明るくする運動」強調月間に合わせた普及啓発活動が市内各所で実施され、安全で安心な地域社会づくりへの意識を高めました。7月8日にはアスティアかさいで第76回目となる同運動オープニングセレモニーが開催され、保護司会や更生保護女性会、地区推進員など約210人が参加。活動のスタートを華やかに盛り上げました。



▲プレーとランチを楽しんだ8カ国64人の参加者とシニアクラブの皆さん

6月1日から健幸ポイントスタート

6月1日、イオンモール加西北条で加西市運動ポイント事業のセレモニーを開催し、約200人が参加。健康づくりを実践した「健幸ランキング」の表彰式が行われ、1位の上坂裕美さんは「親のためにも健康でいたい。今後も友人と一緒に楽しみたい」と笑顔でした。ヴィクトリーナ姫路の荒谷菜さんとのじゃんけん大会も催され、会場は盛り上がりました。



▲バスケットボールを落とさないように支え合いながら走る親子

8カ月育てた特産にんにくを調理

7月6日、賀茂小学校の3年生17人が8カ月間育てた特産「ハリマ王にんにく」の調理実習に挑戦しました。賀茂地区ふるさと創造会議の支援のもと、地域のふれあい部会員に教わりながら「カレーピラフ」などを調理。児童たちは初めての包丁や火を上手に使い、大崎果那さんは「自分で育てたものを食べられてすごく嬉しい」と笑顔を見せました。



▲セレモニーを演奏で盛り上げたTHUBO-KEN TRIO meets J・Kの皆さん

8カ国64人がグラウンドゴルフで国際交流

6月14日、NPO法人加西市国際交流協会主催で「国際交流グラウンドゴルフ大会＆ランチ交流会」を開催し、8カ国64人が参加しました。シニアクラブの丁寧な指導のもと、初心者から上級者までがグラウンドゴルフを楽しみました。真剣な表情でプレーする姿やホールインワンに沸く歓声で会場が包まれ、ランチ交流会では国籍や世代を超えた交流の輪が広がりました。

地域との絆で旧宇仁小児童が善行表彰

6月20日、八王子会館（油谷町）で日本善行会兵庫県支部による善行表彰伝達式が行われ、旧宇仁小学校3年（現泉小学校4年）の児童9人が受賞しました。2008年から地域住民と進めてきた、自発的な野菜・米作りや朝市出品などの交流活動が評価されたものです。常峰美空さんは「野菜が大きく育っていくのが楽しかった」と笑顔を見せました。



▲返却された本を元の場所に戻す作業をしている生徒たち＝市立図書館

アスティアかさいで父の日イベント

6月21日、アスティアかさいで父の日イベント「親子でゲームチャレンジ」が開催されました。参加した親子は、お父さんと息を合わせてパターゴルフや宝石すくいなどに挑戦。豪華景品が当たるくじ引きを目指して、お父さんの頼もしいリードのもと、力を合わせてゲームを楽しむ姿が見られ、会場は温かい笑顔に包まれました。



▲モニターを使って喫煙の影響を分かりやすく伝える中谷先生

世代を超えてつながる音楽の輪

6月21日、加西市民会館で「加西市吹奏楽団第32回定期演奏会」が開催されました。ステージでは本格的な吹奏楽曲をはじめ、昭和のヒット歌謡や人気ゲーム音楽など多彩なプログラムを披露。子どもから高齢者まで、幅広い世代の観客が素晴らしい演奏に聞き入りました。アンコールでは3曲が演奏され、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。



▲善行表彰に輝いた児童9人と、小川初男兵庫県支部長（左端）、当時担任の高見駿介先生（右端）

トライやる・ウィークで仕事のプロから学ぶ

6月1日から5日間、市内の中学2年生が115事業所で職業体験に挑戦。市立図書館では生徒7人が業務を体験し、季節の本を選ぶ展示企画に取り組みました。成果は7月2日から8月30日まで各中学校の作品を約3週間ごとに入れ替えて展示します。藤原優菜さん（加西中2年）は「汚れを確認して元に戻すなど、作業が細かくて大変」と話しました。



▲パターゴルフでホールインワンを狙う参加者

健康を守る判断力を学ぶ

7月9日、富合小学校で5年生を対象とした喫煙防止教室が開催されました。学校薬剤師の中谷樹理先生を講師に迎え、健康を守る判断力を身に付けるため、たばこの有害物質や受動喫煙の害について学びました。柴田ひるやさんは「体力が落ちて病気になるから、家族や周りの人に吸ってほしくないし、自分も絶対に吸わない」と話しました。



▲一体感あふれる演奏で会場を魅了する団員と指揮者